

プラザ催しなど	●
ボランティア・市民活動団体催しで 市民活動センターで行われるもの	▲
市内の他の場所で行われるもの	■
ぼらぼら休業日	■

日	曜日	催し物	
1	金	高齢者ボランティアポイント説明会	●
2	土	みきおもちゃ病院 パソコン定期相談	▲
3	日		
4	月	コミュニケーションマージャン体験会	▲
5	火		
6	水	さくら草の会 交流会	▲
7	木		
8	金	高齢者ボランティアポイント説明会	●
9	土	育児ファミサポ交流会	●
10	日	きらきら書道	▲
11	月	コミュニケーションマージャン体験会 BANBANしゃべろう会	▲
12	火		
13	水		
14	木		
15	金	高齢者ボランティアポイント説明会	●
16	土	みきおもちゃ病院 パソコン定期相談	▲
17	日		
18	月	Happiness ♪ 公開練習 コミュニケーションマージャン体験会	▲
19	火		
20	水	さくら草の会 定例会	▲
21	木	市民活動センター 休館日	
22	金	高齢者ボランティアポイント説明会	●
23	土	チャレンジャー	▲
24	日		
25	月	コミュニケーションマージャン体験会 BANBANしゃべろう会	▲
26	火		
27	水		

12/28(木)～1/4(木)は市民活動センター休館日



道路舗装工事のお知らせ

12月15日(金)・16日(土)にメゾン・ド・リヴァージュから喫茶Yにかけて工事を行います。来館される際はご注意ください。

～なおつたら もうけもの～
みきおもちゃ病院

セカンドライフ応援講座「おもちゃドクター養成塾」を修了したボランティアで「みきおもちゃ病院ドクターグループ」が結成され、病院を開設しています。

- 開院日：12月2日(土)・16日(土)
10:00～12:00
- 会場：三木市立市民活動センター
- 問合せ先：ボランティア活動プラザみき
☎83-0090



Happiness ♪ 公開練習

1970年代のフォークソングやオリジナル楽曲を歌う2人組の音楽グループ「Happiness ♪」が、練習の様子をお見せします！

- 日時：12月18日(日)
14:00～16:00
- 会場：三木市立市民活動センター
- 問合せ先：ボランティア活動プラザみき
☎83-0090



高次脳機能障害の当事者・家族・支援者の会
「チャレンジャー」

「チャレンジャー」は高次脳機能障がい当事者・家族・支援者の方々が、気軽に集って安心して語り合える場所です。

日々の困りごとや悩みを共有したり、情報交換をしたりしながら、抱えている想いを語ってみませんか。

- 日時：12月23日(土)
13:00～15:00
- 会場：三木市立市民活動センター
- 参加費：1人100円(お茶・お菓子代)
- 問合せ先：ボランティア活動プラザみき
☎83-0090

プラザからの
お知らせ

ボランティア活動プラザみきの
年末年始のお休みは、
12月29日(金)から
1月3日(水)までです。
よいお年をお迎え下さい。

マガジン

ボランティア・市民活動者のための活動応援情報

ボランティア・市民活動情報「マガジン」は、ボランティア活動プラザみきのホームページからでもご覧いただけます

(発行)
三木市社会福祉協議会
ボランティア活動プラザみき
〒673-0403
三木市末広1-6-46
(市民活動センター内)
TEL 0794-83-0090
Fax 0794-82-6666
e-Mail mvsc@miki.or.jp



みきボランティアフェスタ2023が開催されました

～つなげる市民力 いかしあう市民力～ 2023.11.19 sun

今年度はコロナ禍前と同様の内容で行われ、4年ぶりにステージイベントも復活しました。当日は延べ2000人を超える方が来場され、会場に活気があふれました。

93名が参加!

「ほっとけない!地域づくりを考える集い」

今年のテーマは…
「こんな時どうしたらいいの?支え合いってなあに?」

三木市内にあるさまざまな関係機関などが記載されている資源をカードゲームにしてグループワークを行いました。知らなかった資源を共有し新たな発見となり、誰もがその人らしく尊厳のある暮らしができる地域づくりについて考える機会となりました。

参加者の意見・感想

- 困った時はまず、近所の人や地域の人に相談するのが大事だと思った。
- 民生委員同士の情報交換をする時間も必要だと感じた。
- 日頃から地域住民との関係づくりは大切だと感じた。
- 「つながり」「支えあい」「見守り」を大切にしたい。



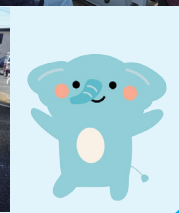
23団体が
出展!

体験ひろば・情報ひろば

ボランティア・市民活動団体の日頃の活動を市民の方々に広く知っていただき、関心を持っていただく体験ひろば。子どもから大人までたくさんの方が参加され、活動の魅力を伝える機会となりました。

参加者の声

- ・いろいろな活動を見ることができて参考になりました!
- ・また来年も参加します!
- ・コミュニケーションマージャン体験を楽しみにしていました!



2団体が
出演!

ステージイベント

ボランティア・市民活動団体の日頃の活動について、実際に披露するステージイベント。たくさんの方に日頃の活動を観ていただく機会となりました。

Happiness ♪による
～フォークソングの披露

阿波踊り「遊舞連」による
～阿波踊りの披露～



ボラ・プラみきの
アクション・レポート
(45)
～市民のチカラ～

大切なのは「対話」と「参加」 ～違いを認め合い 共につくることを目指して～

◆「対話」とは何か？

対話とは、お互いに相手が話す「意味」の理解をめざすものです。対話とよく似たことばに会話がありますが、会話はその意味の違いを追求するものではありません。相手との価値観や考えの違いを認め、相手が話す内容の理解に努めながら、ともに納得できる新たな意味を見出すプロセスが対話なのです。多様性を認め合う地域共生社会が叫ばれている今、「対話」はますます重要であるといえるでしょう。

◆ 対話を大切にしたい話し合い

三木託児ボランティアカンガルーは、子育て中の方が安心して学びやリフレッシュできる機会づくりを応援することを目的に託児活動を展開するボランティアグループです。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、3年間活動を休止。再開した時には、メンバーの家庭状況等の変化により活動日に人数が集まらないことが多く、コロナ前のように託児の依頼にこたえられない状況になりました。活動の継続や会の存続が危ぶまれ、今後の活動についてメンバー同士で話し合うことになり、定例会に同席させていただきました。

話し合いの中で、これまでの活動で苦楽を共にし、活動が休止状態であっても、家庭の状況等により思うように活動ができなくても、「託児活動が好き」「育児中のパパやママの力になりたい」という気持ちで会に居続けたメンバーのことを改めて認識されていました。メンバー一人ひとりが互いに想いを寄せ合うことで、話し合いが円滑に進む雰囲気がつくられているように感じました。

途中、意見が相容れない場面もありましたが、発言者の意見一つひとつを大切に、本来の活動の目的に立ち返りながら、メンバー全員が納得できる結論を導くことができました。そこにあったのは、まさに「対話」でした。代表は、「メンバー誰もが意見を出しやすい雰囲気づくりに努めています。お互いを理解し合える関係性を築活動中のいざという時にスムーズに力合わせができると感じています。」と話されました。



◆ 対話によって生れた新たな価値

自分たちにできる活動のあり方を模索し、これまで主催者により依頼されて託児を一手に引き受けてきた活動から、今後は主催者が実施する託児の現場にサポートに入るかたちで活動を展開することになりました。子育て中の方が安心して講演会や行事に参加できることで、孤立しがちな子育て世帯同士や地域とつながる機会が増えます。その環境をさまざまな主体と共につくることは、地域で子育て世帯を支える意識の変革にもつながることでしょう。誰かの意見で説得をさせるのではなく、「私たちの意見」として、新たに考え出された結果は、対話を重ねることで生みだされた新しい価値であると考えます。

◆今こそ、対話的な話し合いを！

新型コロナウイルス感染症の拡大は、会議や打ち合わせ等「話し合い」のあり方に大きな影響をもたらしました。対面によるものからオンライン、頻度の減少や時間の短縮、また、それ自体がなくなるケースもあったかもしれません。

しかし、話し合いは結論を出すためだけのものではありません。対話を大切にしたい話し合いでは、相互理解をはじめ、個々の自覚やチームワークの高まり、アイデアの創造など、さまざまな副産物が生まれます。実りある話し合いにするために、参加者が対話の意義を確認するとともに、自ら進んで対話に参加していくことが大切であると考えます。

現在、ボランティア活動プラザみきでは、ボランティア・市民活動団体の話し合いがより有意義なものになることを願い、話し合いを進めるハンドブックを作成中です。今こそ、自分たちの話し合いを見直してみませんか？ボランティア活動プラザみきは、みなさんの話し合いを応援しています。

助成金情報

助成金等名称 〔申請等期日・期間〕	助成内容	問合せ・申込先
2023年度近畿ろうきん NPOアワード 2024年1月31日(水) まで*必着	〔目的〕 子育て支援の活動を進めるNPO・ボランティア団体を応援します 〔応募要件〕 近畿2府4県に主たる事務所を置き、非営利の市民活動・ボランティア活動を行うNPO法人と一般社団法人(非営利型)、法人格のない任意団体。2024年4月1日～2025年3月31日に日本国内で実施する新規プログラム(前年度からの継続事業でも可) 〔助成額〕 2022年4月～2023年3月までの期間中の教育ローン新規融資額の0.05%(220万円)を助成。 <50万円コース> 3～4団体 <10万円コース> 3～5団体	近畿労働金庫 地域共生推進室 〒550-8538 大阪市西区江戸堀1-12-1 電話 06-6449-0842 FAX 06-6449-1414 申請書はホームページからダウンロードできます。 https://www.rokin.or.jp/npn/npn_award/

ボランティアさん大募集

〔竹灯ろう作り〕〔再生ロウソク作り〕のボランティアを募集します！

三木市内の神戸・心絆(ここな)活動拠点にて行われる阪神淡路大震災と東日本大震災のふたつの犠牲者追悼式典で使用する竹灯ろうの作成と再生ロウソク作りなどのボランティアを募集します！みなさんのご協力、ご参加をお待ちしております。
※ボランティア保険の加入をお願いします

場所 三木市志染町広野
期間 2024年3月上旬くらいまで
土・日・祝 10:00～15:00の間
問合せ先 神戸・心絆(ここな)
☎080-5300-6686(杉山)

vol.5 日頃の活動に取り入れられる情報をお届けします！

活動者さん必見！お役立ち情報

ボランティア・市民活動を維持・運営するための基盤となる「活動資金」。資金調達の方法としては、会員からの会費、行政からの補助金や財団の助成金などがあり、「寄付」というカタチも資金調達のひとつの方法になります。今回は「寄付」のカタチについてご紹介します。

寄付を募る方法

- 募金箱
多くの人が見かける場所に箱を設置して集める
- 街頭募金
街頭で直接声をかけて集める
- チャリティイベント
いろいろなパフォーマンスを行って集める
- クラウドファンディング
インターネットを使ってたくさんの方に呼びかけて集める
など、様々な方法があります。

寄付を募る方法のひとつとして

三木市社会福祉協議会では、2019年より「みきボランタリー活動応援 共感ファンド」の事業を展開しています。

共感ファンドとは…
寄付を集めたい活動団体が、その活動や地域課題を共有しながら寄付金を募る仕組みです。
活動の報告や取り組み活動の案内などをお届けし、その活動を応援したい、または共感した活動に寄付をしてもらうため、活動の資金を得られるだけでなく、多くの方々に活動を知ってもらう機会となり、仲間が増えるチャンスにもなります。

2023年「共感ファンド」で集めた寄付金での取り組み！

「トランジションタウン三木」さん
2023年10月20日～22日
里山フリースクールで多様な子ども達の自主性を育む取り組みとして、「愛農かまど創り」が実施されました！

次回は、ボランティア保険についてご紹介します